

# 7月は同和問題啓発 強調月間です。

福岡県では、毎年7月を同和問題啓発強調月間と定め、各地で部落差別をはじめあらゆる差別を解消するための取り組みをしています。

小郡市では、この月間に合わせて同和問題市民講演会を開催しています。

## 小郡市同和問題 市民講演会

日時 7月12日(土)午後1時30分  
会場 小郡市文化会館大ホール  
講演 インターネットと人権

講師 平岡恭正さん(インターネット掲示板差別書き込みについて考えるプロジェクト会議代表)

インターネットは人と人をつなぎ、たくさん情報をやり取りする便利な仕組みです。しかし、インターネットの掲示板やホームページには個人や団体への誹謗中傷、差別書き込みなどが横行し、人権侵害を引き起こしているのが現状です。

今、インターネット社会の中で何が起きているのか、インターネットの光と影の部分についてお話ししていただきます。一人でも多くの方が関心を持つ

ていただければと思います。市民の皆さんの参加をお待ちしています。

入場無料

要約筆記・手話通訳あり



ひらおかきょうしょう  
平岡恭正さん

## 福岡県「同和問題啓発強調月間」講演会

日時 7月26日(土)午後0時45分

会場 クローバープラザ(春日市原町)

プログラム

第一部

人権コンサート「渡辺千賀子の小さな手のひらコンサート」  
だれもが幸せであるために」

出演 渡辺千賀子さん

ソプラノ歌手として国内外で活躍。毎年、大阪、東京で「ソプラノ・リサイタル 美しい調べ」を開催。一方、子ども達にもわかりやすい言葉で人間の平等を訴え、人権の大切さを伝える

るフォークソング中心の「小さな手のひらコンサート」を全国各地で展開。

第二部

講演「人間は尊敬すべきものだ」  
同和問題解決のために」

講師 福田雅子さん

NHK大阪放送局に入局以降、社会・教養番組および人権問題のドキュメンタリー番組などを制作。文部科学省認可の研究財団として設立された財団法人世界人権問題研究センター理事。NHKラジオ第一放送の「時の話題」に社会評論家として出演。

## インターネットと人権問題

総務省によると、日本でインターネットを利用している人は、8、500万人を超えています。今後、パソコンや携帯電話の普及・発達により、ますます高度な情報化社会になることが予想されます。

現代社会において、なくてはならないインターネットですが、様々な課題も出てきています。

### ○インターネットの利便性

インターネットを利用するとたくさんの情報を瞬時に手に入れたり、発信したりすることが出来ます。メールのやりとりや電子掲示板への書き込みなど様々な活用がなされています。

ホテルの予約やチケットの

購入なども容易にできるようになりました。

身体的な状況で外出等ができてにくい人にとっても、仕事をしたりコミュニケーションをとったりすることが在宅のまま可能となりました。

### ○インターネットの危険性

課題として個人情報が行き渡るなどのプライバシーの侵害や有害情報の氾濫など、インターネットの普及に伴い、人権を侵害する事象が多発しています。

「匿名性」であることから電子掲示板等への書き込みの中には、同和問題にかかわる特定の個人や地域、また、障害者や在日外国人などを誹謗中傷するものや差別を助長するようなものもあります。そして、そのような情報が瞬時に不特定多数の人に閲覧されるという危険性を持っています。

「学校裏サイト」の中で、消える、死ぬ」などの書き込みをされ、不登校になったり、自殺をしたりする子も現れるなど、事態は深刻です。



(朝日新聞二〇〇八・六・一)

### ○豊かなネット社会を

インターネットは、私たち人間にとって便利な道具として

つくられたはずで、その道具を使いこなすのは私たちの問題です。情報の収集・発信における個人の責任や情報モラルについての理解を促進させるための教育・啓発が必要になってきます。そして何より、人と人との結びつき、つまり家庭や学校、職場、地域などでの人と人との豊かなつながりをつくることが大切になってきます。

インターネットを人と人との豊かにつながる人権が大切にされる道具として活用していきたいと思います。そんなネット社会をつくるためには、自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができるような人権に関する知的理解と人権感覚を身につけ、行動に移していきたいものです。

問い合わせ先 人権・同和教育課 ☎ 72・2111 内線 532